

# 民主島根

2019年  
**5.26**  
第1337号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444  
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

## 早期の衆院解散の可能性・・・ 野党共闘勝利と党の躍進を

### 松江・出雲 大平 前衆議員、尾村県議らが街頭演説



プラスターを掲げて賑やかに宣伝する大平前衆院議員(出雲市)

日本共産党の大平喜信衆院比例中国ブロック予定候補は16日、松江、出雲の両市で宣伝し、参院選での市民と野党の共闘勝利と党の躍進で安倍政権を打倒しようと呼びかけました。

大平氏はスーパー前や市役所前など計4カ所で後藤由美市議らと演説。暮らして希望が持てる政治に転換するとし、8時間働けば普通に暮らせる社会の実現や、社会保障の充実、学費無償化などの「3つの提案」を訴え、「憲法9条守れ、原発ゼロの願いを日本共産党へ」と呼びかけました。

演説を聞いた男性(76)は「安倍政権は国民の声を聞かない異常な政治をしている。何としても倒さないといけない」。



日本共産党東部地区委員会は12日、松江で決起集会を開き、会場いっぱい約80人が参加し、参院選勝利に向けて決意を固めました。

岩田剛地区委員長は「党の底力を発揮し、選挙の『担い手』を広げに広げて頑張り抜こう」と呼びかけました。

中林よし子参院選挙区予定候補、尾村利成県議が決意表明。中林氏は、国会での絶対多数を背景に強権政治を繰り返す安倍政権を批判し、「改選1人区で野党統一を勝ち取って自民党を打ち負かし、安倍政権を終わらせよう」と訴えました。(写真)

女性(81)は「共産党は国民に温かい党だともっと知ってほしい」と語りました。

松江市では、尾村利成

松江決起集会

### 安倍政治にサヨナラを 中林 参院鳥取・島根選挙区予定候補ら決意表明



商店街前で尾村県議らと訴える大平前衆院議員(松江市)

くらしに希望を。力あわせ、未来ひらく。

## 日本共産党演説会

6月23日(日) 午前10時～  
松江テルサホール

弁士

党委員長(衆院議員)

### 志位 和夫



参院議員(比例)

### 仁比 そうへい



参院選挙区予定候補(元衆院議員)

### 中林 よし子



尾村県議 建設環境委員  
大国県議 農水商工委員  
5月臨時会

臨時県議会が14、15の両日開かれ、引き続き2議席を確保した日本共産

党の尾村利成、大國陽介両県議が出席しました。

尾村県議は建設環境委員会に、大國県議は農水商工委員会に所属が決まりました。



### 島根県医師連は10日、JR松江駅前 医療・介護現場の増員や夜勤改善などを求める「2019ナースウエーブ」集会を開きました。「医師・看護師大幅増員」「安心安全な医療介護の実現」などのプラカードを

掲げた医療従事者ら約80人が参加しました。

森山篤士委員長はあいさつで、10連休は自身も数日しか休めなかったと述べ、過酷な労働条件を改善し、安心、安全な医療を提供したいと訴えました。

日本共産党の尾村利成、大國陽介両県議、民主県民クラブの白石恵子県議、自民党の五百川純寿県議、健康福祉部の吉川敏彦部長らが激励や連帯あいさつ。(写真)

集会後、参加者は夜勤改善と大幅増員を求める国会請願署名を呼びかけました。

### 鼓動

「パリテ」という言葉を聞いたことがあるだろうか。フランス語で「同数・均等」を意味する。今年「日本版パリテ法」とも言われる「政治分野における男女共同参画法」が施行されてはじめての選挙の年。各党に候補者を男女同数とする努力義務が課された。統一地方選の結果、どうだったか。前半41道府県議選の当選者のうち、女性が占める割合は共産党51.5%に対し、自民党はわずか3.5%。公明党も8.4%。中野晃一・上智大教授は「こんなありなのか」という数字：自公は相当ひどい。

【前衛】6月号、穀田恵二衆院議員との対談と安倍政権を酷評している▼日本共産党の第6回中央委員会総会は、論戦の争点の一つに「差別や分断をなくし、誰もが尊厳をもって自分らしく生きることのできる社会を」と打ち出し共感を広げている。「個人の尊厳を守る」——これは野党共闘が初めから追求してきた大事な課題だ▼島根県で女性の政治参加を大きく進めたのが中林よし子さんだった。幼子を抱えながら国政選挙に挑戦し、1979年、33歳のとき総選挙で初当選。「島根県初の女性代議士誕生」「保守王国に新風」と全国的に注目された。中林さんはいま、安倍政権に立ち向かい、希望の持てる政治を、と全力をあげている▼日本共産党は女性が無権利だった戦前の時代から「女性参政権」の要求を高々と掲げ、伊藤チヨ子、高島満丸など迫害によって20代で命を奪われた女性のたたかいも記録されている。女性差別撤廃、男女同権のためにたたかってきた党の魅力を大いに語り広げていきたい。(後)